

記入例

令和 3 年 3 月 20 日

地域福祉活動支援事業（一般助成） 報告書

令和 2 年度地域福祉活動支援事業について、関係書類を添付のうえ次のとおり報告します。

必要事項を記入または○をつけてください。

(1) グループ名・ 代表者名等	ボランティアグループ〇〇の会
	(代表者氏名) 神奈川 一郎 ㊟ * 団体印のない場合は代表者の個人印
	(担当者氏名) 横浜 花子
	(住所) 〒221-〇〇〇〇 横浜市神奈川区鶴屋町 2-〇〇-〇 (tel) 045-312-〇〇〇〇 (fax)045-312-〇〇〇〇 (e-mail) ×××@×××.jp
	①セフヘルプグループ等 ②ボラ [○] ティアグループ等 ③市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等

(2) 助成事業名・概要等

事業区分	①当事者支え合い・当事者支援の促進 ②地域福祉ニ [○] ーズ(課題)への対応 ③福祉の学び(参加型福祉教育)の推進 ④福祉コミュニティの構築
助成事業名	外国籍児童への学習サポート・地域交流事業
助成金額	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">_____ 円</div> <div style="text-align: right;">戻入 _____ 円</div>
実施内容	<p>※目的、対象、日程、会場、講師、内容、参加者人数等、実施状況を具体的に記入。</p> <p>1. 外国籍児童の学習サポート [目的] 増加する外国籍児童を学習面で支援し、孤立防止等も念頭に地域住民との交流を深めていく。 [日時] ○年○月~○年○月までの第2・第4、水曜日、金曜日の放課後(15:30~18:00) [会場] ○市○地区公民館2階会議室、△市△地区児童館 [講師] 元教員2名、大学生ボランティア10名 年間計44回実施。 [内容] 外国籍児童の学習サポート(小学生は授業の補習。中学生以上は受験指導も行う)</p> <p>2. 交流懇談会 年2回(7月、12月)×2地域(○市○地区公民館、△市△地区児童館)計4回実施。 外国籍住民や地域住民による食事づくりや研修(大学講師等による)、話し合い等を内容とする。参加人数 延べ219人。</p>

可能な限り具体的に記入。適宜、関係資料を添付

(3)助成事業実施による成果及び課題

(例) 外国籍児童の学習サポートの他、外国籍住民の孤立を防ぐため、年に 2 回 (7 月、12 月)、〇市〇地区公民館、△市△地区児童館の 2 か所で交流懇談会や研修会を行った。7 月の食事づくりでは、地域住民のつくった日本料理を外国籍住民に振る舞い、また、お互いの国の料理を紹介し合うなどしながら、各国の文化の一端を相互に知ることができた。研修会では外国籍住民の課題等を共有しながら、これまで接点を持つことのなかった人々が繋がり、最近では外国籍住民が自治会活動に積極的に参加するケースも見られるようになった。

課題としては利用している公共施設の利用に制限があること、学習サポートの講師が不足していること等があげられる。

(4)助成事業の今後の展開について

(例) 助成事業を通して〇市職員とも繋がり、事業への理解を深めていただいたことで、市の施設を減免利用できる見通しが立った。このため、学習サポートの開催回数を増やすことで、これまで以上に外国籍児童を受け入れる素地ができた。また、市の広報紙やホームページで、講師の募集について周知していただけることになったため、事業をより充実させることができるものとする。更に〇市に隣接する△市での活動の幅を広げるため、〇市と同様に行政や関係機関との連携を更に深めていく。これらの事業を通し、将来的に外国籍住民が地域住民と共に活動の担い手となっていただけることを期待している。

地域のバザーなどにも積極的に参加し、自主財源の確保に努めていく。

(5)助成事業決算 (見込) 書

(単位: 円)

収入			支出		
科目	説明 (積算根拠等)	金額	科目	説明 (積算根拠等)	金額
助成金収入	地域福祉活動支援事業助成金	160,000	諸謝金	講師謝金@25,000 円×2 名	50,000
自己資金等	自己資金 寄付金収入 @10,000 円×4 件	40,000	旅費交通費	講師交通費@1,000 円×2 名×2 回	4,000
バザー売上 収入	6 月 21 日 (日) 〇〇区民祭り	22,206	印刷製本費		0
			通信運搬費	案内ハガキ@52 円×250 枚×5 回	65,000
			会議費	講師食事代 3,440 円 (@860 円×2 名×2 回)、交流懇談会飲物代 28,470 円 (@130 円×219 人)	31,910
			消耗器具 備品費	再生紙 26,000 円 (@一箱 2,000 円 ×13 箱)	26,000
			賃借料	公民館等会議室@1,000 円×44 回	44,000
			保険料		0
			手数料	講師謝金振込手数料@648 円×2	1,296
収入合計		222,206	支出合計		222,206

自主財源は事業総額の
5 分の 1 以上とする。

申請書との整合性に注意。
助成対象外の経費は記載し
ない。

※助成金額は助成対象経費総額の 5 分の 4 以内であること。
 ※申請時の予算書を基に作成すること。但し、戻入のあった場合、助成金収入は当初の交付額から戻入額を差し引いた額を記入。
 ※支出科目別に合計金額を記載すること。この科目以外の経費 (科目) は助成対象となりません。ただし、支出のない科目には金額欄に 0 と記入。
 ※説明欄に積算根拠を記入しきれない場合は、詳細を記載した用紙を別途、添付すること。

報告書と併せ、以下①～④を提出すること。※③は確定後の提出で構いません。

- ①成果物 ②助成事業対象経費の領収書等の写し ③グループの年度事業報告・決算書 ④ホームページ用報告書